

令和 7(2025)年度  
編入学・転入学

日本語・日本文化専攻  
小論文問題

【問題】

SNS 等の普及により、コミュニケーションが手軽に取れるようになった反面、意味が 2 通り以上に解釈できるために誤解を招く表現が増えているのも事実です。

下記2つの例文を使って、誤解を生まずに相手に自分の意思を伝えるにはどの様にすればよいか、また自分の過去の経験があれば、それも踏まえて述べなさい。(800 字程度)

【例】

(1) A:明日 10 時に駅前集合だけど、来れる？

B:うん、大丈夫

A:何で来るの？

B:？

(2) A:旅行のお土産買ってきたよ

B:うん

A:明日持って行くね

B:いいよ

A:？

2025(令和7)年度  
札幌大学転入学・編入学試験(2月)  
日本語・日本文化専攻

【小論文テーマ】

SNS における曖昧な表現による誤解

【出題意図】

現代は SNS の普及により容易に意思伝達ができる。しかし、容易である故に表現が多様化し、様々な誤解が生じるおそれがある。この問題では①言語表現の曖昧さに気づかせる、②曖昧な表現をどう補えば誤解が減るのかを考えさせる、③「曖昧さの分析」だけでなく、自分の経験を踏まえて書かせることで、思考力+自己表現力を同時に見る、④「SNS等の普及により」と書かれていることから、現代的な背景を意識させる、の4つの観点から、現代的な SNS リテラシーを踏まえる力を測ることを意図している。

【回答例】(800字以内)

最近では SNS で気軽にやり取りができるようになりましたが、その分、相手に正しく気持ちが伝わらず、誤解が生まれることも多いと感じます。たとえば例(1)の「何で来るの?」という言葉は、「交通手段は何?」という意味のつもりでも、「なんで来るの?」と理由を聞かれているように感じる人もいます。そうならないためには、「電車で来る?車?」など、できるだけはっきり聞くことが大切です。

例(2)も同じで、「いいよ」という返事が、「持ってきてくれていいよ」なのか「持ってこなくていいよ」なのか分かりづらいです。こういう時は、「ありがとう、楽しみにしてるね」や「気持ちだけでうれしいよ」と、相手に伝わりやすい表現を選ぶようにすることが大事だと思います。

私も友達との LINE で、「明日、駅で集合しよう」と言った時、「うん、分かった」と返ってきたのに、時間になっても来なかったことがありました。後で聞いたら、「何時に集合か分からなかった」と言われ、ちゃんと伝えてなかった自分にも反省しました。それからは、「10時に札幌駅集合ね!」と、できるだけ詳しく伝えるようにしています。

SNS では、顔が見えないぶん、短い言葉だけだと気持ちが伝わりにくいです。誤解を防ぐためには、「どう書けば相手にちゃんと伝わるか」を考えて、はっきりした表現を心がけることが大切だと思います。気軽なやり取りの中でも、ちょっとした気配りが、良い人間関係につながると思います。